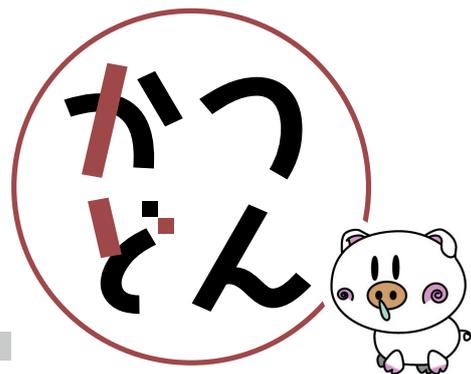


“かつ” ボランティア&市民活動を “どん”どん広げよう!



ボランティア“活”動や市民“活”動をはじめとするさまざまな社会貢献“活”動が、“どん”どん広がり、半田市が生き生きとくらしやすいまちになるよう、市内で行われるさまざまな取り組みを紹介します。

市民活動・ボランティア活動に関する相談窓口

はんだまちづくり

ひろば(愛称:まちひろ)

☎32-3440

【相談窓口】 市民交流センター(クラシティ3階)

【開所時間】 月曜日～土曜日 9時～17時

【休館日】 毎月第4水曜日、年末年始(12月29日～1月4日)

大 作戦レポート

半田市では「みんなで一緒に大作戦」を合言葉に、市民のみなさんと力を合わせて、より住みやすいまちにしていこうことを目指しています。



持続可能なコミュニティ活動にチャレンジ ～災害対応力向上研修～

10月31日(土)～11月1日(日)、大曾公園にて防災キャンプが開催され、半田小学校の児童・保護者や運営スタッフなど、約70名が参加しました。

この取り組みは、半田小学校区コミュニティ推進協議会が中心となり、多世代間の交流を通じて、将来を担う子育て世代のコミュニティ活動への参加を促し、被災時に率先して活動できる人材を増やすことを目的としています。

7月、8月に事前研修を2回実施し、テント・タープの張り方、ナイフの使い方、火起こし方法、飯ごうでのご飯の炊き方などを学びました。

そして当日は、研修で学んだことを実践し、かつ



▲児童・保護者とスタッフがパン作りをする様子

魅力的なプログラムとして、野外でのバームクーヘンやパン作り、みんなで張ったテントの中で、お泊り体験も行われまし

た。また、火を起こすことからはじめ、食事が出来上がった際には、児童と保護者、運営スタッフの全員が笑顔で喜ぶ姿が見られました。

普段あまり接点の無かったコミュニティの運営スタッフと子育て世代が、子どもを通じて交流できたことは、今後のコミュニティ活動への大きな1歩となります。また、限られた物資・環境の中でも自分たちで出来ることを学ぶことで、災害時の行動にも活かされます。

今後も本事業を継続し、多世代間の連携を深めていくことで、将来、地域の核となる人材の育成に取り組んでいくとのことです。

※この事業は令和2年度半田市市民活動助成金対象事業です。

小学校区コミュニティ推進協議会とは

人口減少・高齢化により地域での担い手不足が進む中、小学校区内の自治区が枠を越えて協力し合いながら、持続可能な活動に取り組んでいます。現在、4小学校区(亀崎、乙川、横川、半田)において、協議会が設立されています。

実施事業: 夏祭り、防災訓練、防犯パトロールなど